

大学連携コラム

◆ ◆ ◆ ドクターが診る 健康相談室

Vol.2

新型コロナで 脳神経の病気を 見逃していませんか？



大阪医科大学病院
脳神経外科
鰐淵 昌彦さん

脳神経外科というと、頭が痛い時や言葉が出にくい時、手足が痺れたり動かなくなったりした時に受診するところというイメージがあると思います。しかしながら、実はもっと幅広く「顔のピクつきや痛み」の治療も私たちが専門とする分野です。

顔のピクつきや痛みは、どちらも頭の中の神経が血管によって押されるために起こる病気です。ピクつきは「顔面けいれん」、痛みは「三叉神経痛」と言います。症状には波があるのと、悪くなると病院に行こうかな、良くなるとまだいいかという気持ちが入り混じり、受診をためらう人もいると思います。

また、顔のピクつきといっても症状は**まぶたの引きつれから始まる**ことが多いので「眼科を受診すればいいのかな」と考えたり、**顔の痛みは歯や頬の痛みから始まる**ため「歯科や耳鼻科を受診すればいいのかな」と、どの診療科を受診すればいいのか迷う方も多いと思います。

新型コロナへの感染を気にする生活が続く中、このように受診への悩みを感じる方は、以前より多くなっているのではないでしょうか。

治療は、まずは飲み薬で行いますが、顔面けいれんの場合は顔に注射をするという方法もあります。しかし、根本的治療として、耳の後ろの骨に500円玉大の穴をあけて神経から血管を離すという手術が必要になることが多いです。

高槻には脳神経外科のある病院やクリニックが多くあります。受診をどうすればよいか悩んでいる方は、近くの脳神経外科で相談されるのが良いでしょう。